

令和7年(2025年)11月28日(金曜日)

「住みたい磐田」高校生提案



最優秀賞に選ばれた磐田北高
「いわたひろめ隊」＝磐田市
見付のワークピア磐田

飲食店ランチョンマットにお勧め場所掲載

磐田市は22日、地元高校生が発想を市政に生かす事業「いわた高校生まちづくり研究所」の企画提案発表会を同市見付のワークピア磐田で開いた。市内6校から7グループ計57人が参加した。最優秀賞には、高校生ならではの視点で市の魅力を発信するアイデアを披露した磐田北高の4人グループ「いわたひろめ隊」が

最優秀に磐田北高

選ばれた。

同グループは、飲食店で食器の下に敷く紙のランチョンマットに、高校生お勧めの地元スポットを掲載する案を発表した。JR磐田駅から歩いて行けるカフェマップも提案した。統廃合で使わなくなった学校にドッグランなどを整備し、ペットを飼っている人を呼び込むアイデアを提言したり、市内産の陸上養殖エビを使ったグルメを考案し、イベントで販売を実践したりしたグループもあった。

草地球場市長やヤマハ發動機、静岡銀行の関係者らが審査員を務めた。生徒たちは「これからもずっと住み続けたいまち、いわたをつくろう」をテーマにした政策を提言するため、6月から調査・研究や施設見学、体験活動などに取り組んだ。発表会は今回で14回目。これまでに30以上の提案が事業化された。

(磐田支局・八木敬介)